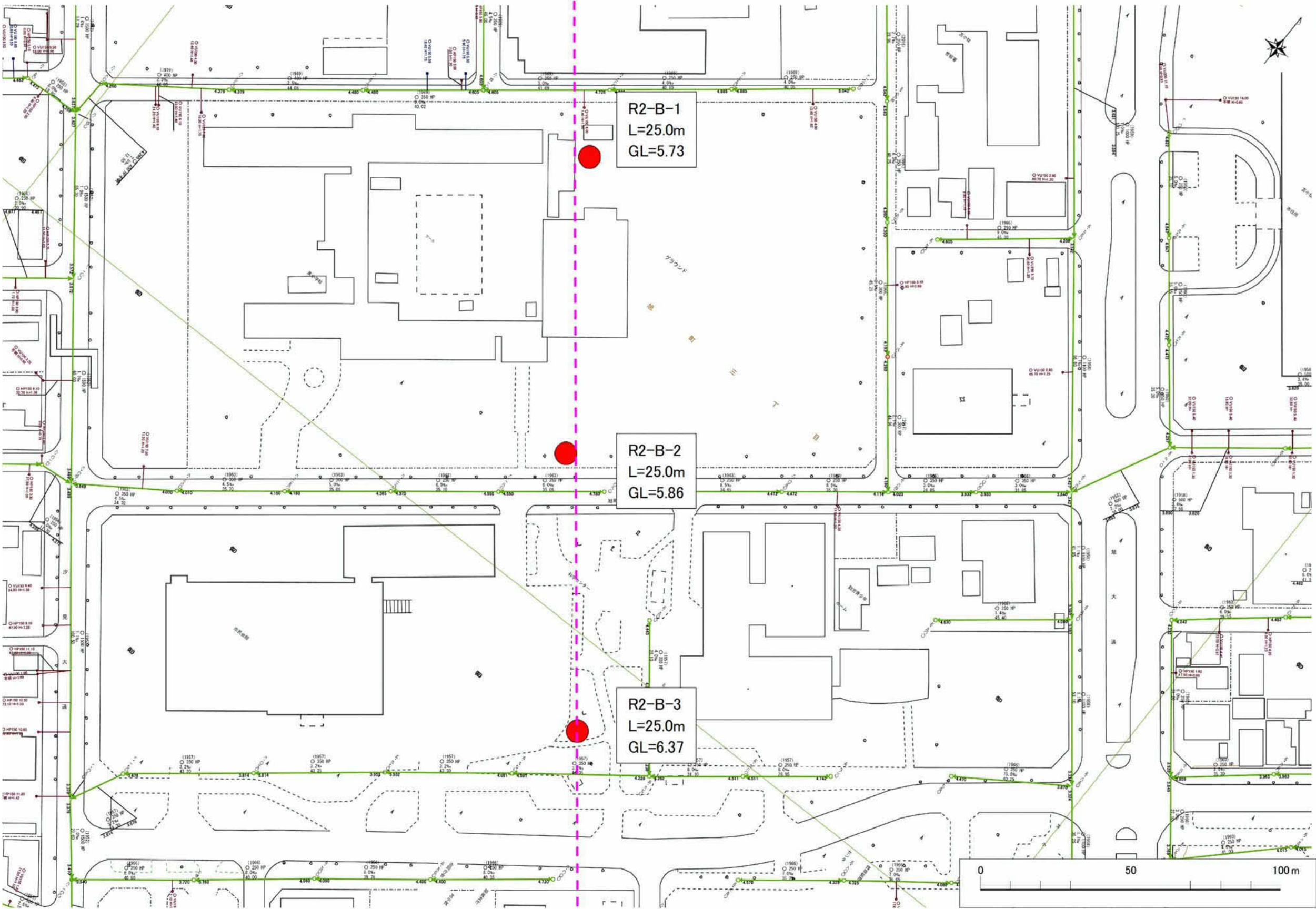


資料-4 ボーリングデータ

調査位置平面図



# ボーリング柱状図

調査名 (仮称) 苫小牧市民ホール建設事業PFIアドバイザリー業務

ボーリングNo.										
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	R2-B-1	調査位置	旧苫小牧東小学校敷地内	北緯	42° 37' 58.2"
発注機関	苫小牧市	調査期間	令和2年8月17日～2年8月19日	東経	141° 36' 10.9"
調査業者名	パシフィックコンサルタンツ株式会社 電話(011-700-5223)	現場代理人	瀬戸哉樹	ボ-リング責任者	加藤晴樹
孔口標高	5.73m	使用機種	ハンマー落下用具	コ定者	佐々木宏志
総掘進長	25.00m	エンジン	ヤンマーNFA12-E	ポンプ	半自動
角	上 180° 下 0°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	高愛陽	
方位	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	試験機	利根TDC-1B		

標尺 (m)	層厚 (m)	標高 (m)	柱状図	土質区分	色	相対稠密度	相対稠度	記	標準貫入試験			原位置試験		室内試験		掘進月日
									深 (m)	10cmごとの打撃回数	貫入量 (cm)	深 (m)	試験名および結果	深 (m)	試験番号	
5.38 5.13	0.35 0.25	0.60	盛土	盛土	暗褐色			シルト混り砂。径3~4cmの角礫10~20%に混入。	1.50	0	1	3.00	P1-1			
4.43	0.70	1.30	盛土 軽石火砕 山灰	盛土 淡乳灰 黒褐色	褐色			粗砂主体。径1~2mm程の軽石全体に混入。不均次。軽石最大径4cm。深度1.10mに約3mmの炭化木片。全体に粗砂に動入。深度1.30mに木片含む。比較的均次の良好な細砂。	2.00 2.15 2.47	1 9 12	15 12 32	3.50 3.50	P1-2			
3.63 3.23	0.80 0.40	2.10 2.50	泥炭 砂	暗灰色	暗灰色			中~粗砂。下位ほど粗度が大きい傾向が認められ、下層に漸移。	3.15 3.45 4.15 4.45 5.15 5.45 6.15 6.45 7.15	9 9 8 9 11 12 14 17 19 31	27 30 23 30 28 43 30 50 20	4.50 6.00 6.50 7.00 7.50 8.00 8.50	P1-3 P1-4 P1-5			
0.23	3.00	5.50	礫混り砂	暗灰色	密な			基質は均次不良の粗砂。径2~5mmの亜円礫10~20%混入。下位ほど礫率が高い。	9.41 10.15 10.36	8 9 11 15 20 26	23 30 50 26					
-1.47	1.70	7.20	砂	暗灰色	中ぐらい			基質は均次不良の粗砂。径3~5mmの細礫。径1~3cmの亜円礫、扁平礫60~70%含む。	11.15 11.33	23 8	27 18					
-4.07	2.60	9.80	礫混り砂	暗灰色	非常に密			均次不良の中~粗砂。径3mm程度細礫10~20%含む。	12.45 13.15 13.45	10 15 20	45 30					
-4.77	0.70	10.50	砂	暗灰色	非常に密			基質は均次不良の粗砂。径3~5mmの細礫、径1~3cmの亜円礫50~60%含む。	14.15 14.45 15.15 15.45	9 7 12	14 35 30					
-6.62	1.85	12.35	砂	暗灰色	密な			均次良好な微細砂。火山灰質。全体に細砂分混入。不均質。含水程度。	16.15 16.45	11 14	36 30					
-7.02	0.40	12.75	砂	暗灰色	非常に密			均次不良の中~粗砂。径3mm程度細礫10~20%含む。	17.15 17.45	2 5	11 30					
-7.27	0.25	13.00	砂	暗灰色	非常に密			基質は均次不良の粗砂。径3~5mmの細礫、径1~3cmの亜円礫50~60%含む。	18.15 18.45 19.15	6 7 9	22 30					
-8.12	0.85	13.85	砂	暗灰色	密な			均次不良の中~粗砂。径3mm程度細礫10~20%含む。	19.45 20.15	4 4	11 30					
-8.12	0.85	13.85	砂	暗灰色	密な			均次不良の中~粗砂。径3mm程度細礫10~20%含む。	20.45 21.15	4 4	12 30					
-15.27	7.15	21.00	砂	暗灰色	中ぐらい			微細砂とシルト質微細砂の相互層。1~5mm程の貝殻片が5%程混入。	21.45 22.15 22.45 23.15	4 2 7 4	4 5 18 30					
-19.27	4.00	25.00	砂	暗灰色	中ぐらい			径1cm程度の円礫をごくまれに含む。深度22.00~22.05m：シルト薄層。深度22.25~22.35m：シルト薄層。深度24.40m：クルミの殻片	24.45 25.15 25.45	3 3 4	11 30 10					

ボーリング柱状図

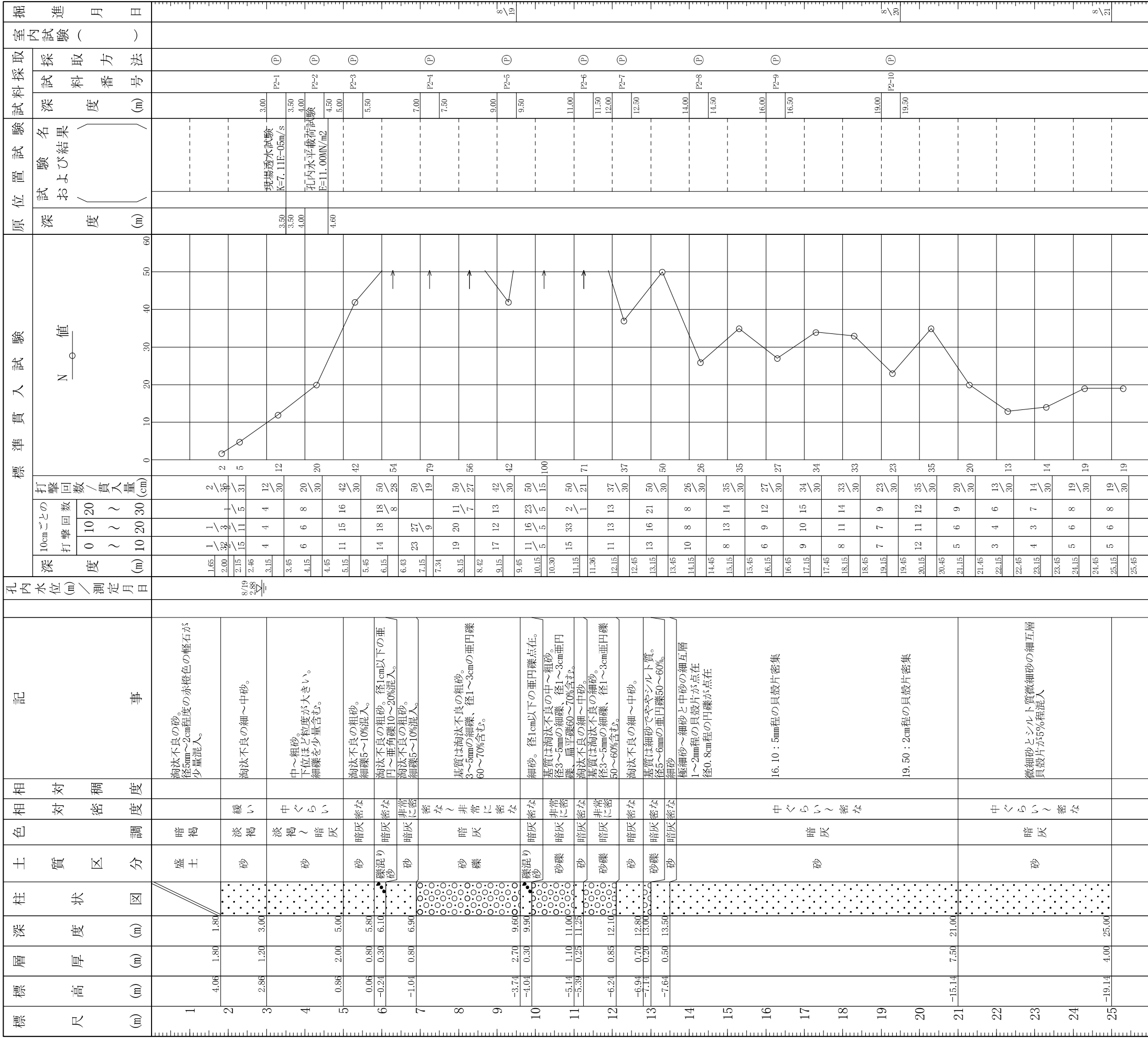
調査名 (仮称) 苫小牧市民ホール建設事業PFIアパドバイザリー業務

事業・工事名

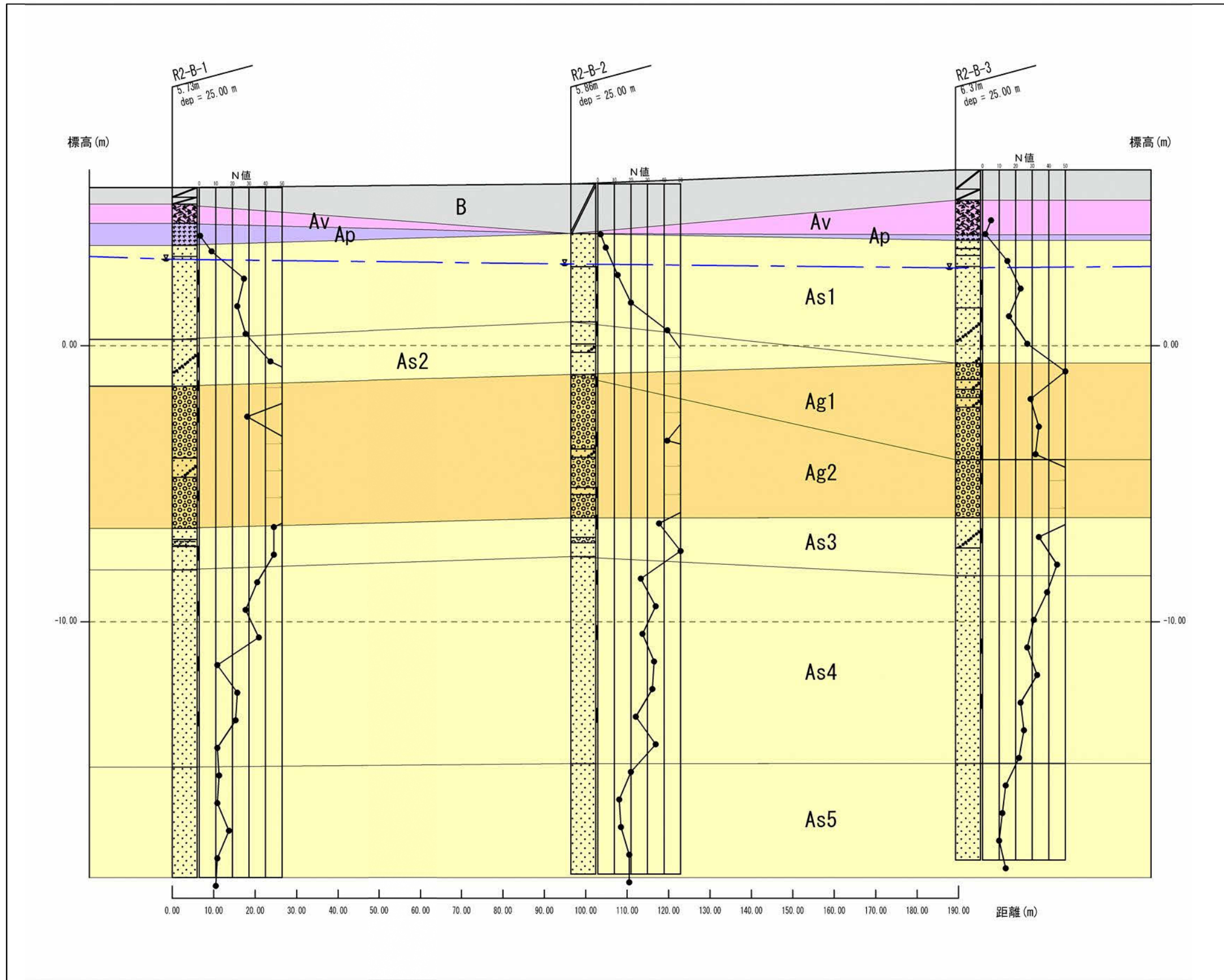
ボーリングNo. table with empty cells for recording borehole numbers.

シートNo.

Header information table including boring name (R2-B-2), location (苫小牧市), investigation position (旧苫小牧小学校敷地内), and various technical details.







時代	地層名	記号	層相	記事	N値 Min~Max(Av.)
現世 第四紀 完新世	盛土	B	シルト混じり礫質砂、砂、シルト混じり砂	砂を主体とし、シルトを含む。径3~6cmの角礫を10~20%含む。径1mm~2cmの軽石が全体に混入する。	0~1
	火山灰層	Av	軽石火山灰	淘汰が悪い粗粒火山灰。軽石最大径4cm。稀に炭化した木片を含む。 R2-B-2地点では見られない。	1~5 (3)
	泥炭層	Ap	泥炭	含水低~中位。ほぼ分解されているが、稀に未分解の木片を含む。全体的に粗砂が点在する。 R2-B-2地点では見られない。	1~3 (2)
	砂層1	As1	砂、礫混じり砂	細砂~粗砂主体。下位ほど粒径が漸移的に大きくなる。最下部で径2~5mmの重円礫を10~20%程含み、最大径5cmの礫も稀に含む。 N=5~28と幅が広く、不均質な性状である。	5~28 (19)
	砂層2	As2	砂、礫混じり砂	全体的に淘汰が悪く、粗砂を主体とする。径2~5mmの重円礫を10~20%含む礫混じり砂を挟む。 上位のAs1層と比較し、締りが良い。 R2-B-3地点では見られない。	42~50以上 (49)
	砂礫層1	Ag1	砂礫、礫混じり砂	径1cm程の重円礫を60~70%含む砂礫を主体とする。基質は淘汰が悪く、粗砂を主体とする。 平均N値はN=36を示し、締りが良い。 R2-B-3地点でのみ見られる。	32~50以上 (36)
	砂礫層2	Ag2	砂礫、礫混じり砂、砂	径3~5mmの細礫、径1~3cmの重円礫、扁平礫を60~70%含む。基質は淘汰が悪く、粗砂を主体とする。径1cm以下の重円礫を5~30%含む礫混じり砂を挟む。 上位のAg1層と比較し、平均N値が50以上を示し、とても締りが良い。	29~50以上 (50以上)
	砂層3	As3	砂、礫混じり砂、砂礫、砂質シルト	淘汰が悪い細砂~中砂を主体とする。径5~6mmの重円礫が60%程密集する部分も見られる。砂質なシルトの薄層を稀に挟む。 平均N値はN=43を示し、締りが良い。	34~50 (43)
	砂層4	As4	砂	極細砂~細砂と中砂の細互層。1mm~2cmの貝殻片が点在し、貝殻片の密集層を稀に挟む。径0.8cm程の円礫が点在する。 N値の幅が比較的広く、不均質な性状である。	11~39 (28)
	砂層5	As5	砂	極細砂とシルト質微細砂の細互層。全体的に1~5mmの貝殻片が点在し、貝殻片の密集層もみられる。 上位のAs4と比較し、N値が低い。	11~20 (14)